

令和2年第1回当別町議会定例会一般質問通告一覧

令和2年3月定例会

順序	議員名	要 旨
1 番	佐々木常子 (一問一答方式)	<p>1 防災減災対策について</p> <p>(1) 水害に対する不安の声が沢山聞こえてきていますが、避難所、避難経路、避難訓練など、対策を伺う。</p> <p>(2) 日帰りの訓練ではわからなかった事がわかる一泊の訓練は大切と考えるが、取組みについて伺う。</p> <p>(3) 避難所において女性スタッフが必要と思われるが当別町の対応を伺う。</p> <p>(4) 専門家による防災教育と訓練は非常に重要と思うが当別町の対策を伺う。</p> <p>2 がん教育について</p> <p>(1) 子どものころから健康について教育を受けることが重要であり、医師やがん患者・経験者等の外部講師を活用し、子どもにがんの正しい知識やがん患者・経験者の声を伝える事が重要である。当別町の対策を伺う。</p> <p>3 遺族が行う、死亡時の手続きについて</p> <p>(1) 大切な方が亡くなったばかりの遺族の方の手続きは非常に煩雑であり、一つの窓口で書類を作れるなど、負担を軽減するような体制を作っていくべきでは、対策を伺う。</p>
2 番	山崎 公司 (一問一答方式)	<p>1 当別町第6次総合計画について</p> <p>(1) 第1期の「創生総合戦略」の数値目標の転入者数、K P I の出生数は、目標よりかなり下回り、人口減少の要因となった。今後の改善策について伺う。</p> <p>(2) 新しい時代の流れを力にする。地域における S o c i e t y 5 . 0 の推進と S D G s の実現をどのように捉え、課題解決の観点から考え方をどのように反映し、どの部分に貢献しているか伺う。</p> <p>(3) 平成11年から20年間人口減少が続く。事業展開を確実に実行し、5年後の2024年には人口減少を止める決意が必要。2030年には、目標に上積み出来るよう考えるが見解を伺う。</p> <p>(4) 町民の声の集約として町内会の実情と行政に対する声を聴く機会が必要と思うが見解を伺う。</p> <p>(5) 財政面で、歳入の町税・普通交付税額・寄付金等の見直しをつけてやっていくと思うが、この期間には役場庁舎や西当別地区の小中一貫校の建設も検討する事となる。特に役場庁舎は早急にとの声が多い。見解を伺う。</p> <p>2 プログラミング教育必修化について</p> <p>(1) 論理の思考力や課題解決を養う教育として2020年度この4月から</p>

		<p>小学校でプログラミング教育が必修化される。当別の小学校の学び方や学ぶ学年はどのように実施される予定か。その内容と現状課題はないのか。伺う。</p> <p>3 人事評価制度導入の効果について</p> <p>(1) 職員の主体的な職務遂行や自己啓発を促し、職員の人材育成と組織の活性化が図られているのか伺う。</p> <p>(2) 制度を活用した適材適所の人事配置や給与等への反映など能力や業績に基づく人事管理が推進されているのか伺う。</p> <p>(3) 制度の活用を通じて、主体的・自律的な職員を育成し行政サービスの向上が図られているのか伺う。</p> <p>(4) 現在、人事評価制度と自己申告制度を併せ実施されてる中で、職員の戦力強化のため、研修・人事交流・自己啓発について、どのように実施・指導しているのか伺う。</p> <p>(5) 町長は就任してから2期目の3年目を迎えますがこの制度が導入時と比較して職員にどのような変化を感じられているのか伺う。</p>
3番	島田 裕司 (一問一答方式)	<p>1 図書館条例制定について</p> <p>(1) 条例制定する意義をどう考えているのか。</p> <p>① 図書館設置を条例化する目的は何か、伺う。</p> <p>② 条例制定することで、今までと何がどう変わると考えているのか伺う。</p> <p>(2) 今後、この条例をどのように活用して、図書館奉仕の向上実施に努めようとするのか。</p> <p>① 図書館職員体制は、どうするのか伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館長並びに専門的職員（司書）の配置について伺う。 ・2月の町広報で図書館管理人を募集しているが、新年度どのような任用になるのか、また今までは管理人として雇用していたのか、伺う。 <p>② 図書館協議会を条例案の中に設置しなかった理由は、あるのか設置すべきでないのか、伺う。</p> <p>③ 今後、この条例を補完する意味からも当別町図書館像検討委員会を活用する考えはないのか、伺う。</p> <p>(3) 条例案策定までの審議過程について</p> <p>① 昨年12月、条例制定にむけて、町民より教育委員会に要望書が提出されている。その要望書に対して、教育長は2/7付で回答し、その後2/19に定例の教育委員会を開催している経過がある。教育委員会事務委任規則には、教育委員会の教育長への事務委任の除外規定が設けられている。今回、その2条(3)の規則に反していないか、伺う。</p> <p>② 今回のような条例制定にかかわる町民要望が提出されている場合、教育委員会は、どのような対処をしたのか、はたして各教育委員は、意見を述べる場があったのか、伺う。</p>

<p>4 番</p>	<p>澁谷 俊和 (一問一答方式)</p>	<p>1 太美駅的环境整備について</p> <p>(1) 現状は、鳩の糞が乾燥し、目には見えないが、歩く度に舞い上がる状況。特に鳩の糞は、カビの一種であるクリプトコックス属真菌によって引き起こされる感染症が心配され、特に小さい子供やお年寄り病弱者には大敵である。新型コロナウイルス対策も大事だが、毎日そこを利用する住民にとっては不安で一杯である。この住民の気持ちを、町長はどう思うか。</p> <p>(2) 現在の跨線橋には、鳩が住み着き、習性として一旦住み着いたら中々そこから離れない習性を持っており、どうしても排除するならば、中に入れない措置、即ち玄関ドアが必要である。町の管轄ではないと言って住民の命に係る措置を取らないということは、あり得ないと思うが、町長の見解を伺う。</p> <p>(3) 町立地適正化計画(案)でも、人口の急激な減少と高齢化を背景として、高齢化や子育て世代にとって、安心できる健康で快適な生活環境を実現することをうたい、太美駅周辺が候補地となっていることから、この措置は必要と思うが、町長の考えを伺う。</p> <p>(4) 通勤で利用する方の駐車場、通学の駐輪場の設置と駅裏(車側)の道路整備をしっかりと頂きたいというのが、地域住民の声である。町長の考えを伺う。</p> <p>2 役場職員の働き方改革について</p> <p>(1) 時間外手当支給の実態について</p> <p>(2) 昨年比で 200%超えている部署が、環境生活課を始めとして三課、その他にも総務課・150 年室、商工課は 200%に近い。改善のためにどのような対策がとられているのか。</p> <p>(3) 職業性メンタルヘルス対策について</p> <p>① この対策の一環として職業性ストレス簡易調査をしているようだが、目的は何か。</p> <p>② 問題があった場合、どういう対応をとれるのか。</p> <p>③ 現在、メンタルヘルスで長期休暇を取得している職員はいるのか、いるとすれば何名か。</p> <p>(4) 職員の障がい者雇用について</p> <p>① 当別町役場での雇用割合はどれくらいか。</p> <p>② 障がいを理由と差別の解消の推進に関する当別町の職員対応要領が、平成 29 年 4 月から施行されているが、その第 6 条に「町長は～差別の解消の推進を図るために事例を収集するほか、研修または、啓発を行う」とあるが、どのようなことを行っているのか。</p> <p>③ 障がい者雇用促進法により、一定数以上の規模の事業主は、身障者、知的障がい者、精神障がい者の割合を「法定雇用率」以上にする義務があると規定されているが、町長はどのように考えているか。</p>
------------	---------------------------	---

		<p>3 町長の政治姿勢について</p> <p>(1) 昨年 11 月 5 日に開催された「町行政推進員会議」の質疑応答の中で「町行政に関しての住民アンケート等、町民の声を直接聞けるような機会を設けるようにしてほしい」との声が出され、これに対し、町長は「町政うんぬんに町民の声など聞いては、やっていけない。私は、自信をもって自分の方向で仕事をやっていく、町民の声を聞いてやっていけというなら、自分は町長をやめてもいい」と言うやり取りがあったと聞いているが、事の真相は何か。町長の見解を伺う。</p>
5 番	鈴木 岩夫 (一問一答方式)	<p>1 人口減少、子育て支援</p> <p>(1) 乳幼児医療の「通院費」助成の拡大について、今後は、「入院費」の助成に合わせて中学生、高校生まで拡大していこうと考えているか伺う。もし、そうであるならば、いつ頃が適切であると考えているか伺う。</p> <p>(2) 人口減少・子育て支援を考えると、国保税の引き下げを行うべきと考える。できなければ、せめて多子世帯の均等割りの減免を実施すべきと考えるが伺う。</p> <p>2 担い手確保推進事業について</p> <p>(1) 新規就農だけでなく親元就農者に対する支援が入っているか伺う。</p> <p>(2) 国の助成とは別に、町独自の助成金支給や研修機会、住宅の確保などのメニューを充実すべきと考えるが伺う。</p> <p>3 災害対策について</p> <p>(1) 中央排水、23 線排水の整備を国や道とも相談し急ぐべきと考えるが伺う。</p> <p>(2) 23 線排水は、平成 30 年度 2 度周辺農地が冠水している。小麦の収穫後であったことから、この年は被害を受けなかったが、冠水するという状況は改善されるべきと考えるが伺う。</p> <p>4 当別 150 年について</p> <p>(1) 平和都市宣言について、「150 年の節目というのは、効果を高めるという点では、一つのタイミングだ」という考えは、今も変わらないか伺う。</p> <p>(2) 公民館、郷土資料館の解体・撤去は当別 150 年を機会にすべきと考えるが、実施するとしたらいつなのか伺う。</p> <p>(3) 150 年を機会に郷土資料館の解体・撤去するにしても、郷土資料の整理・保存・活用が必要で、その方向性について伺う。</p> <p>① 学芸員の採用は、考えていないか伺う。</p> <p>② 学芸員の資格を持った地域おこし協力隊員の採用は無理か伺う。</p>

		<p>5 一体型義務教育学校について</p> <p>(1) 「当別未来学」推進と「郷土学習」の関わりについて</p> <p>① 伊達山遺跡の整備・保存・活用を積極的に行うべきと考えるが、どのように考えているか伺う。</p>
6 番	<p>稲村 勝俊 (一問一答方式)</p>	<p>1 農業政策について</p> <p>(1) 農業 10 年ビジョンの推進、課題克服の為当別町農業総合支援センターが設立された。当別町農業の持続性確保のための四点の課題について伺う。</p> <p>① 担い手の育成、確保について</p> <p>② 農地の集積、集約化について</p> <p>③ 経営基盤の整備、強化について</p> <p>④ スマート農業の推進について</p>
7 番	<p>櫻井 紀栄 (一問一答方式)</p>	<p>1 幼少期・児童期における当別町の今後の教育の在り方について</p> <p>(1) 子育て支援センターで開催しているあそびのひろばについて、平日毎日開所するようになり、利用者も行きたいときに行けて喜んでいる。一方で子育て支援センター職員の多くが定年を迎える時期が近づいている。今後も厚みのある事業を展開するために支援センターの職員確保や人材活用が重要だと考える。</p> <p>① 子育て支援センターの機能として、現状どんな人材が足りないのか。</p> <p>② 採用にあたって、資格や専門知識の有無を考慮するのか。</p> <p>③ 子育て支援センター職員にはどのような研修を行っているのか。</p> <p>(2) 子どもの発達において当別町の自然を活かした野外での遊びを通じた学びは重要であると考えます。</p> <p>① 野外教育の重要性と意義をどのように考えているのか。</p> <p>② 当別町では社会教育主事が野外教育を担当しているとのことだが、現在どのような取り組みが行われているのか。</p> <p>(3) 子どもたちが「今やりたいこと」を大切に遊ぶことを通して、自然で過ごす楽しさや厳しさを体験したり、自分で考えて安全に行動する力を身に着ける森の幼稚園の存在は、自発的に考え行動する力が身につく、大人になってこそ必要な生きる原動力となる。</p> <p>① 森の幼稚園について意義と必要性をどう考えるか。</p> <p>② 町内で森の幼稚園設立を望む声が多く出てくれば、どのようなサポートが考えられるか。</p> <p>(4) 年齢や家庭環境、居住地域、障害の有無などに関わらず、すべての子どもが集い遊び、学ぶことのできるシステムづくりは、共生型社会を推進する当別町にとって重要であると考えます。役場庁舎更新にあわせて、役場機能を集約し、ゆとろを子どもの集いの拠点地とし町全体で子供たちを見守る施策は有効と考えるがどう考えるか。</p> <p>(5) 高学年のプレイハウスの利用者人数が少ないと聞く。高学年の利用が少ない理由はなぜだと考えているのか。</p>

		<p>2 社会全体で互いに支えあえる社会づくりについて</p> <p>(1) 小さな子どもがいても、気軽に公共施設へ訪れることが出来るような設備やそれを見守る周りの方々の心遣いやサポートをしていくことも重要である。SDGsを推進していくためにもあらゆる年齢のすべての人が住み続けられるまちづくりを推進していかなければならないと考える。</p> <p>① 役場本庁舎にはおむつ替えのスペースがない。日々町民が利用する場所であり、早急に設置が必要だと考える。おむつ替えスペースについて用意することは検討しているのか。</p> <p>② バリアフリーの充実度が高いゆとろにおいて、役場本庁舎でしか手続きができないような書類等があれば移動の負担になってしまう町民もいる。児童・福祉の手続きが施設内で完結するような体制になっているのか。</p> <p>(2) 当別町民憲章は当別町史によると開基 100 年を記念して議会で議決、制定されたものである。50 年前とは町民を取り巻く環境・価値観・地域情勢も違うため、当別町 150 年・制定 50 年の節目として今の時代に沿った細目であるかを、一度検証・確認する動きが必要である。</p> <p>① 今の社会情勢に積極的かつ柔軟に対応できるよう、また当時制定した先人の方々の重みを受け止めつつ町民憲章に再度脚光をあびるような動きをしてみてもどうか。</p> <p>② 50 年前と変化している地域情勢を考える上において、第 6 次総合計画の策定にも取り入れられた SGD s に沿った具体性を盛り込む必要があるがどう思うか。</p>
--	--	---

【計：7人、3時間30分（1人30分計算）】